

# お知らせ

## 七月例会

期日…立教 188 年 7 月 25 日  
時間…15 時 30 分受付 16 時開始  
会場…東右第四棟 4 階講堂

## 学生層育成者講習会

### 日程・会場案内

・山形	7月2日 13時〜	教務支庁
・直属		
・錦江	7月6日 12時 30分〜	大教会
・本理世	7月6日 12時 30分〜	大教会
・中根	7月20日 11時 50分〜	大教会
・東	7月20日 13時〜	大教会
・小南部	7月22日 12時〜	大教会
・西	7月24日 12時 20分〜	大教会

## 報告

### 五月例会

去る5月25日、教庁4階講堂において「五月例会」を開催。出席は43教区、137直属。

### 各地の動き

・東本	5月16日	大教会	395名
・清水慶政委員長出向			

・高知	5月18日	大教会	200名
・越知	5月20日	大教会	60名
・高岡	5月20日	大教会	100名
・玉島	5月20日	大教会	163名
・周東	5月21日	大教会	130名
・南紀	5月22日	大教会	160名
・飾東	5月22日	大教会	70名
・愛知	5月23日	大教会	80名
・中河	5月23日	大教会	70名
・五條	5月23日	大教会	80名
・島ヶ原	5月24日	大教会	90名
・水口	5月24日	大教会	90名
・宇仁	5月24日	大教会	90名

## 人事

〈立教 188 年 5 月 31 日付〉  
【学生担当委員会事務局退職】  
・高田昭徳（北・梅路金沢）

## 業務記録

（立教 188 年 5 月 16 日〜6 月 15 日）  
5月24日 担当者活動部部会  
25日 委員会 例会  
教祖百四十年祭 学生おちばがえり 大会 決起の集い  
6月12日 学修高校の部準備会議  
26日 大学の部研究室  
6月13日 高校の部研究室  
教祖百四十年祭学生おちばがえり 大会プロジェクトチーム会議  
学修係員チーム会議  
人材育成部部会  
13日 委員会  
学生連絡会

## 「若者との追いかかけっ」



学生担当委員 会でご用を務めて いると、学生と談

笑したり情報交換したりできる場 面があります。そんな中で個人的 に心に残る場面がありました。

ある日、とある学生 A 君と何

気ない会話をしていたときのこ と、最近学生の中で人気の SNS S は何なのかと質問したところ、 彼は少し考えた後、私になぜその 質問をするのか尋ねてきました。

私としては特に強い思いで質問し たわけではありません。今後の広 報や行事のお誘いの参考になれば と軽い気持ちで聞いただけでし

た。そのことを話すと A 君は自 分が使っている SNS を教えて くれ、同時にこんなことを伝えて くれました。「まあ、おじさんた ちが入ってきたら僕らはいなくな

りますけどね」だそうです。彼が 言うには、我々大人が入ってくる とそれは古いツールになってしま う。古いツールになれば若者は次 を求めて去ってしまうとのことだ した。

よく考えると A 君の言ったこ とは当たり前なことなんだと思っ ます。自分自身が学生であったこ ろ、確かに学生だけのコミュニ ティに大人が入ってくるのがあ り、そのときは今のようなオンラ インのものは少なかったけれど、 それでも大人の介入は嫌なもので した。なんだか監視されているよ うな気がして窮屈さを感じ、他に 関心を示していったような気がし ます。

ということ、我々が若者を追 いかけると若者はそこからいなく なってしまふ、その先を追いか

庶務会計部 委員

高井 義誠

るとまた次の場所へと…となっ てしまいます。これではいつま でたつても追いつきません。で はどうするべきなのか、その答 えを教えてくださいました。A 君でし た。続けて「でも、僕らに関わ るうとしてくれているのは伝わ りますよ」と言ってくれました。 これは困った顔になった私を フォローしてくれた一言だと思 います。しかし、意外にそうな のかもしれません。我々大人が 若者を追いかけていく姿を彼ら はきつと見ていてくれる。その 場では伝わらなくてもきつと将 来どこかでこちらを見てくれる。 どこかで学生が道に迷ったとき、 こんな人がいたなと思ってくれ れば、そのときこの若者との追 いかけつこもより良い方向へと 繋がっていくのだと思います。

# 学生担当者報

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉

TEL 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 461 立教 188 年 2025 年 6 月 25 日発行

令和 7 年 学生担当委員会 活動方針 「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

### ブラジル伝道庁 HARP 研修会出向報告 委員 置田善道

去る5月11日、ブラジル伝道庁の月次祭において、学生層育成者講習会が開催された。それに先立つ10日に、HARP講習会が開催された。当日は幅広い年齢層の方々が参加していただき、90名を超える人数で、班の数は10班にも及ぶ大勢の受講を頂いた。

この講習会は、ブラジル伝道庁学生担当委員会が年毎にテーマを検討し、そのテーマに沿ったプログラム作成を本部学生担当委員会が請け負っている。今年は「親孝行」をテーマにプログラムを検討した。以前のまなびばプログラムで「をや」というテーマがあり、そのプログラムの中に「はつぴすと特別号をつくろう」という、親についてのインタビュー記事をつくるというようなエクササイズ(以下EX)があり、その内容と「インタビューピープル」というEXを融合させたものを作成し、お話を聞く前段階であるグループタイム(以下GT)③に配した。その他、GT①にトランプの七並べの形式で、楽しみながら

ら自己紹介をしていく「9ストーリーズ」、GT②、GT④はそれぞれ以前のまなびばのプログラムから「村長からのお願い」、「私〇〇します」というEXを用いてプログラムを構成した。お話では、おさしづの「親と成り子と成るは、いんねん事情から成りたもの。親を孝行せず、親という理忘れ、親に不孝すれば、今後の世は何になるとも分かり難くない」というお言葉や、「親への孝行は月日への孝行と受け取る」といった内容を踏まえて親孝行の大切さを伝えた。

講習会を通して改めて親の思いを求める機会となり、親孝行について学生層にも伝えていきたいとの感想を頂いた。また、伝道庁学担には、今回のグループワークを夏に開催される伝道庁の学生生徒修養会のプログラムにも活用できると手応えを感じていただけた。1日でのプログラムであったが、伝道庁学担委員の皆さんを中心に、非常に充実した楽しい時間を過ごすことができた。

その後、次の拠点となるパラ州のベレンという街に移動した。ベレンは最初に降り立ったサンパウロや伝道庁のあるパウルーよりもかなり北に位置し、サンパウロ空港からベレン空港

### 青空

今年の4月15日に第二子長男が生まれました。4人家族になって、毎日が運動会のような楽しさと忙しさ騒がしさの中で生活を送っています。

お道の人は兄弟が多く大家族のイメージがあるのですが、うちの両親の兄弟がまさにそうで、父親は8人兄弟の一番上、母親は7人兄弟の一番上。自身自身が子育てさせていただくようになってから改めてそんな大家族の子育てをイメージした時に、壮絶な中を通して来られたんだなあ、と感じています。

こんなことを父方の祖母に言うと、「どげんな中でも何とかかな」とのこと。私たち夫婦もしっかりもたれて、何とかなる。の精神で日々通らせてもらいたいです。

人材育成部本部スタッフ 平田翔

### 学生生徒修養会 高校の部 送迎実施一覧

「学生生徒修養会 高校の部」において、系統を問わず受講生の送迎を行う予定の教区・直属を報告いたします。各教区・直属の送迎担当者の連絡先を掲載していますので、詳細につきましては送迎担当者と直接打ち合わせていただきますようお願いいたします。

都道府県	教区・直属	送迎担当者	連絡先
埼玉	秩父大教会	中畝 康博	学生担当委員会事務局へ お問い合わせ下さい。
東京	東本大教会	渡辺 茂紀	
福岡	西海大教会	阿部 理生	
鳥取	鳥取教区	遠藤 義則	
愛媛	愛媛教区	合田 真二郎	

### Happist タオルのデザインが新しくなりました！

下記のQRコードからもデザインをご覧ください。



販売価格：各 500 円

8月1日から学生担当委員会事務局にて販売いたします！

## 「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会 決起の集い」開催報告

5月25日、「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会 決起の集い」を教庁講堂において開催した。この集いは、来年3月28日の「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会」に向けて、学生担当者として開催し、45教区から担当者57名、学生42名、138直属から担当者167名、学生85名、合計351名が参加した。

まず、武田直也・同大会実行委員長があいさつに立った。実行委員長は、自らの思いを述べ、学生担当者への助力依頼をするともに、「多くの仲間とおぢばに帰らせていただき、笑顔にあふれる大会としたい。」「親神様・教祖を信じて、みんなを信じて、共に素晴らしい大会とさせていきたい。」と呼びかけた。

続いて、清水委員長が登壇し、大会に向けての学生担当委員会の取り組みについて説明を行った。まずは、学生たちの自主的な取り組みを全力でバックアップすることを第一に、学担の総力をもつて後押しすることを申し合わせた。次に、全ての教区・直属に同じ信仰をもつ同世代の仲間同士のつながりを築くことを目標に、現状から一歩前進できるよう、学生たちと力を合わせて、新たな学生の発掘と声掛けを行ってもらいたいと、この機会に望むことに言及した。具体的には、学生の集い「まなびば」および「ま

なびば Lite」の開催を通じて、全ての教区・直属学生会で学生同士がつながり合えるよう努めることを求め、学生には、「まなびば」の開催日の設定や企画立案から携わり、友人を誘って参加することを求めた。そして最後に「大会には全教区・全直属からおぢばがえりできるように、学担と学生がタッグを組んで取り組んでいただきたい」と、学担と学生が心を合わせ、手を携えて大会に向かうことを呼びかけた。

この後、トークタイムとして学生担当者と学生が今後の取り組みについて話し合う場が持たれた。更には、シェアタイムとして、2教区・2直属の参加者から話し合い内容などを発表してもらい、大会に向かう動きや思いを共有した。

最後に中山副委員長より、来年の大会開催に向けてあらためての決起を促し、学生と学担一手一つの実動を誓う挨拶があり、決起の集いは閉会された。

この度の集いは、学生と担当者が顔をそろえての行事ということで、層倍のお声掛けをいただいたことと存じます。おかげさまで、教祖年祭に向かって、さらには学生おぢばがえり大会に向かって、心をそろえ、手を取り合って歩ませてくださいたくことを誓い合う場となりました。ご参加くださいました学生担当者の先生方に心より厚く御礼申し上げます。

は飛行機で4時間もの移動であった。そのベレンにある本芝大教会部属のアマゾン教会にて、ミニHARP体験ということで実施をした。教会の夕つとめ後の19時より2時間程の短い時間であったが、40名以上の方々がご参加くださり、伝道庁でのHARP講習会で使用した、GT②「村長からのお願い」を体験していただいた。短時間ということもあって、アクティブなもので楽しく過ごしてもらえたらと思ひ実施した。参加くださった方々は、終始笑い声が絶えないほど楽しく取り組んでくださり、本当に陽気な雰囲気であった。また、教会の会長様、奥様はもとより、前会長様ご夫妻や年配の信者さん方も積極的に参加くださり、年齢を問わず取り組んでくださる姿勢は、日本との文化や感覚の違いを大いに感じた。

ブラジルでの滞在期間は約1週間であった。その間、3泊もさせていただいたサンパウロにある伝道庁部属の誠輝ブラジル教会の近藤会長ご夫妻、ブラジル伝道庁村田庁長ご夫妻、伝道庁学担委員長で通訳も務めてくださった高橋先生を始め、多くの方々の真実をいただいたこと、非常にありがたいことであった。心より感謝御礼を申し上げ、出向報告とする。



立教 188 年 こどもおちばがえり  
**大学生ひのきしん隊 募集要項**

- 日 程** 令和 7 年 7 月 27 日 (日) ~ 8 月 3 日 (日)  
 各日 7 時 45 分受付~8 時集合完了 15 時 30 分散散予定  
 上記 8 日間のうち、参加希望日をお申し込みください。(複数日可)  
 なお、遅刻・中抜け・早退はできません。
- 受 付** 第三御用場 1 階
- 参加対象** 大学生・大学院生・専門学校生
- 参加定員** 各日 30 名
- 内 容** 廻廊ひのきしん受け入れ
- 服 装** ひのきしんにふさわしい服装  
 ・こちらが用意するひのきしんTシャツに着替えていただきます。  
 ※スカート、半ズボン、穴あきズボン、サンダルなどは不可。
- 申込方法** 申込者本人が右の QR コードから、Google フォームにて  
 お申し込みください。



**申込締切** 7 月 15 日  
 ※締切を過ぎての申込およびキャンセルは事前にご相談ください。

- 備 考**
- ・参加者へ、別途参加に関する連絡などは行いません。
  - ・合宿体制は取りません。自宅や詰所などから通いで参加となります。
  - ・詰所に宿泊する際の宿泊費用は各自でご負担ください。
  - ・昼食は用意します。
  - ・夕食は 16 時より第一食堂にて喫食可能です。希望者のみ Google フォームにてお申し込みください。
  - ・参加費は不要です。

**お問合せ** 学生担当委員会事務局【0743-63-2489 (直通)】9 時~16 時 30 分  
 ただし、7 月 27 日~8 月 3 日は【080-3723-0404】へご連絡ください。

**立教 188 年 道の学生ひのきしん DAY 開催要項**

- 《趣 旨》 日々頂戴している親神様の御守護に気づき、生かされていることへの感謝を申し上げる。そして、道につながる学生が一手一つにそれぞれの場所でひのきしんに励む勇んだ姿を周りの人に映し、親神様、教祖にお喜びいただきたい。
- 《スローガン》 みんなで心明るく陽気な姿で勇もう！
- 《期 日》 立教 188 年 (令和 7 年) 9 月 14 日 (日)
- 《参加対象》 高校生、大学生、短期大学生、大学院生、専門学校生など
- 《主 催》 天理教学生会
- 《実施内容》 8 月中旬以降、天理教学生会 Instagram にて会場一覧を掲載します。



@\_TSA.TSA\_

《お問合せ》(TEL) 天理教学生会 : 0743-63-1511 (代表)  
 学生担当委員会 : 0743-63-2489 (直通)  
 (FAX) 0743-62-5780

(郵送) 〒632-8790 天理郵便局私書箱 1 号 天理教